

## 1、スカウト活動のキーマンは、団委員長であり隊長であります。

まず、**団基盤の確立が急務となります**。それには、「**団委員長、或いは隊長として**」の、「**ミッションの理解**」と自分のミッション達成のための、「**やる気(モチベーション)と情熱(パッション)**」を高めることが最も重要になってきます。

**うちの子供をこの隊長に預けて、大丈夫だろうか？**と思われたらおしまいですが、「**うちの子をこの隊長に預けて教育して頂きたい**」と思って頂ける様にしたいものです。と同時にうちの子供をこのように育ててほしいという親の要望に応えていますか（協調性、指導性、社会性など）親は何のために子供をスカウト活動に入れたのか？ **親の顧客満足度を達成していますか**、これができなければ折角入れたスカウトたちはやめていきます。

**「隊長としては、保護者の子供の教育についての要望をしっかりと聞いて対応し、定期的な保護者とのコミュニケーションの中で子供の成長について報告をして意見交換をする。」**

教育規程をベースに、私が感覚的にみた**団委員長、隊長の実行すべきこと**は次のようなものではないかと考えております。

## 2、団委員長が団の活性化のために積極的にやるべきこと

- ① 団委員会&団会議を主催運営し、団、隊の維持発展に努める。[教育規程通り]
- ② 団としてのスカウト募集の企画実施を行い、標準団を目指すことを最優先課題とする。
- ③ 団、隊の指導者の育成強化&後継者育成に努める。（指導者の訓練計画を考える）
- ④ **団委員長の経営責任達成のため、自身のモチベーションを高め、スピードとパッション**で取り組んでもらう。**団委員長のやる気が団の発展に繋がる。**
- ⑤ 自分自身の成長に努め自己研さんを行い団運営実修所などでマネジメントスキルを養成

## 3、隊長がスカウトたちのためにパッションを持って取り組むべきこと。

- ① 「スカウト活動は、明るく、元気に、楽しくやろう！！」を目標に、最大のミッションは**スカウトを成長させて社会へ送り出す**。（スカウトとのコミュニケーションをしながら）
- ② スカウト達へ**魅力ある楽しいプログラム**を提供して、進級、成長を促していく。
- ③ **保護者に隊長のスカウトに対する教育方針を明確に示していくこと（全体と個別に）**
- ④ 集会などで手旗や結索など技術面の指導が多く、「**ちかい&おきて**」の**実践方法**や宗教などの指導が少ないのでは??、野外活動を通じて大自然のなかで工夫をしてみてください。
- ⑤ **集会を欠席したスカウトとは確りコミュニケーションを取り、辞めさせないような工夫を**こだわりを持って行う！！（特にクラブ活動の主力選手とは隊長との連携強化が必要）
- ⑥ 自己研修などで自分自身を成長させて指導者自身も積極的に社会貢献を行う。
- ⑦ **保護者とのコミュニケーション（家庭訪問など）**を行い入団時の要望や、スカウトの成長について話し合いをする。（隊の年間プロ、月間プログラムを保護者に提示することがコミュニケーションのスタートで、次にスカウトの成長状況を知らせるなど）
- ⑧ 国を愛する心や、公共奉仕の精神など、この運動を特徴づける活動が希薄である??

#### 4、保護者に対してスカウト運動の理解度を高めて頂く事を実行しよう。

- ① 保護者は何を期待してボーイスカウトにいらしたのか、保護者に対する顧客満足度の向上に努める、(保護者の期待値確認と、結果に対する進捗確認を行う)
- ② 野外活動、奉仕活動を通して人間成長や公共精神を養わせることの大切さを理解して頂く
- ③ 団としての、保護者会の定例会を開催して、団との2wayコミュニケーションを深める。(隊長は、スカウトの成長の様子を定期的に保護者に知らせられるようにする)
- ④ スカウト運動をよく理解しているお母さんネットワークをつくりスカウト募集や中途退団防止に役立てる。(全国的に見てもお母さんネットワークが各地で活用されている)
- ⑤ 会員拡充委員会として、入団してきた保護者を対象として短時間(2Hくらい)で説明できる資料を作って頂きたい。(団委員長が指導できるように) (募集要項とは別に!!)
- ⑥ 会員拡充委員会にて保護者へのアプローチの仕方を研修して頂くことを検討する。
- ⑦ BS経験者で、社会で活躍している人たちをアピールする。95周年事業としてスカウト大使をお願いしてスカウト運動を支援して頂く。

#### 5、指導者へのお願い

教育というのは、夏の芝生の雑草取りに似ており、取り続けることが大切であります、教育と品質は、続けていてもすぐには答えは出ませんが、止めると一気に崩れてしまいます。「継続は力なり」という言葉がありますが、まさにその通りです、今回の指導者訓練システムの改定についても、進歩制度の変更対応などについても、今日、明日には答えは出ませんが、地区コミッショナーを中心に根気よくパッションを持って指導して、多くの先輩方による支援サービスを受けて、よい成果に結び付けられることを期待しております。

取り組むに当たっては、「有志必成」です。物事はまずやるぞという志が必要です、それにはそれなりの努力も必要です、絶対に実現するという強い熱意、すなわちパッションがあれば、必ず成るなり、まさに達成できるということです。

スカウト運動活性化の源は、団委員長、隊長をはじめ関係指導者一人一人の「意欲と活力」であり「より良いスカウトを育てて社会に送り出す」ことに対する、モチベーション維持、パッションの向上に頑張りこのハイレベルな目標を達成出来るように致しましょう!!

\* スカウトの良いところを見つけて指導してください!!

『鋭きも、鈍きも、ともに捨てがたし、錐と、槌とに、使い分けなば』

\* 日本連盟創立100周年 スローガン

『活動的で自立したスカウトを育てる』

\* 29年度 ボーイスカウトPR活動計画

『なろう、一人前に!!』